

科目名		授業形態	担当教員名	
生体計測装置学Ⅱ		講義	宮下 久美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
生体計測装置学Ⅰで講義しなかった血圧・血流計測・画像計測の仕組みと測定原理、機器、システムの構成について説明する。さらに、近年、在宅で療養するための計測機器も数多く用いられるようになっていることから、在宅医療における計測機器についても概説する。				
授業の到達目標				
血圧・血流計測・画像計測分野の機器の仕組みや特徴について理解し、国家試験レベルの問に正確に答えることが出来る。在宅医療における計測機器の現状をを理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	血圧測定 測定原理・装置の構造			
2	血圧測定 練習問題			
3	血流計測・心拍出量計測 測定原理・装置の構造			
4	血流計測・心拍出量計測 練習問題			
5	超音波画像計測 測定法の原理・装置の構造			
6	超音波画像計測 画像の解析・病態の理解			
7	超音波画像計測 練習問題			
8	X線による画像計測 測定法の原理・装置の構造			
9	X線による画像計測 画像の解析・病態の理解			
10	X線による画像計測 練習問題			
11	RIによる画像計測 測定法の原理・装置の構造			
12	RIによる画像計測 練習問題			
13	核磁気共鳴画像計測 装置の原理・測定法の原理・画像の解析・病態の理解			
14	核磁気共鳴画像計測 練習問題			
15	在宅医療における計測装置			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
臨床工学講座 生体計測装置学		石原謙	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				